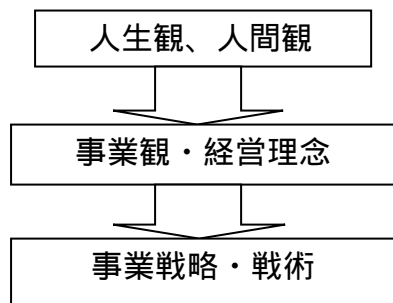


「経営」とは本来仏教用語です

経営理念の重要性は今さというまでもありませんが、確固たる経営理念を構築し実践していくためには「人の生きる意味」、「人生の目的」を明確にしなければなりません。

禅寺で修行を積んだ臨済宗の僧侶であり、かつ経営コンサルタント（中小企業診断士）でもある講師が人生と経営の根本を説く講座です。



人生とは・・・

経営とは本来仏教用語です

経営とは仏教用語であり「自分の人生をどう営んでいくか」「自分自身をどう生かすか」という意味です。企業活動の意味で使われだしたのは後になってからです。お釈迦様が説かれた「人生の目的」、「生き方」を仏教の古典から引用して紹介し明確な人生観に基づく事業間の確立を目指します。

仏教の説く宇宙法則を事業に活かす

「諸行無常」・・・「世の中に常なるものはない。全ては生成し、変化し、消滅していく。」

時代のニーズや経営環境は常に変化している。気付き、対応する。

「因果の法則」・・・世の中に実態のあるものは何もない（諸法無我）

全ては「因」と「縁」により「果」が生じている。

「果」を出すために何を「因」とし何を「縁」とするか。

禅の知恵を事業に活かす

禅とは自我を捨て「自分の中にある仏」に触れること。

人間は本来「無限の力」を持っています。

このパワーを経営に活かそう。

「切に思うことは必ず遂ぐる也 道元禅師」

